

平成 2 4 年度

東浦町教育委員会点検・評価報告書

平 成 2 5 年 8 月

東浦町教育委員会

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、平成24年度の教育委員会の点検及び評価をまとめ、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

－ 目 次 －

第1章 教育委員会の点検・評価

1	はじめに	1	頁
2	主な事業の取組状況	2	頁
	◎ 学校教育課		
(1)	特別支援教育の実施	2	頁
(2)	学力の向上	3	頁
(3)	いじめ防止対策	4	頁
(4)	防災教育の充実	5	頁
(5)	小学校英語活動の推進	5	頁
(6)	アフタースクール事業	5	頁
(7)	小・中学校の施設整備	7	頁
	◎ 学校給食センター		
(8)	食育と健康管理の推進	8	頁
(9)	食物アレルギーへの対応	9	頁
(10)	学校給食センター施設整備事業	9	頁
	◎ 生涯学習課		
(11)	家庭教育事業	10	頁
(12)	青少年健全育成事業	12	頁
(13)	高齢者教育事業	13	頁
(14)	公民館管理事業	13	頁
(15)	公民館事業	14	頁
(16)	文化財保護事業	14	頁
(17)	郷土資料館事業	15	頁
	◎ 図書館		
(18)	図書館活動	16	頁
	◎ スポーツ課		
(19)	東浦マラソンの開催	18	頁
(20)	スポーツ教室の実施	19	頁
(21)	総合型地域スポーツクラブ育成	20	頁
(22)	スポーツ指導者養成	21	頁
3	教育委員会の活動状況	22	頁

第2章	教育委員会点検・評価会議の専門委員の意見	23	頁
	教育委員会の点検・評価会議名簿	24	頁

第1章 教育委員会の点検・評価

1 はじめに

教育基本法が制定以来約60年ぶりに改正され、さらに教育三法が改正される中、本町教育委員会においては、「第4次東浦町総合計画」を基に、平成20年度から教育行政施策基本方針を策定することとし、それらの中で、教育委員会では施策の重点化を図りながら、東浦の子どもたちのために様々な施策を展開してきました。

また、全国的に教育委員会の在り方が問われる中、本町教育委員会においては、毎月の教育委員会議と会議後に実施される各課の事業説明など、事務局と連携しながら真剣な議論によって施策を推進してきました。さらに、会議のみならず、現場の意見に基づいた議論を行うために、学校訪問や他市町との意見交換会・視察等を行うなど、活発な活動を通じて教育行政の推進に努めてきました。

本報告書は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、平成24年度における教育行政の主要な施策や事務事業の取組状況について、課題や取組みの方向性を明らかにすることを目標に進捗状況等について自ら点検及び評価を行い、学識経験者の意見をいただいて作成しました。

点検評価の区分

点検評価は、教育委員会の事務事業の執行状況について、実績や成果を記述し、次に示す5区分により達成度の評価を行いました。

評価	評価の区分
A	優れた取組みが多く、成果が十分上がっている
B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている
C	成果は上がっているが課題もあり、更なる取組みによって上位を目指す必要がある
D	成果は上がっておらず、課題も多いため、更なる改善が必要である
E	成果はほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

＊ 達成度の評価が D 及び E とされた事業は、その事業が継続された場合、翌年度に再度評価を行い、不要と判断された場合はその事業を中止もしくは廃止の検討を行います。

2 主な事業の取組状況

事業名（担当課） 事業の概要	取組状況（平成 24 年度実績）	点検及び評価																																																			
学校教育課																																																					
（１） 特別支援教育の実施 （学校教育課） 障害のある児童生徒の自立や社会参加に向け、一人ひとりのニーズを把握し、持てる力を高め、生活や学習上の困難を解決するため、適切な指導及び必要な支援を行う。	○特別支援教育推進協議会 ・交流事業…３回開催（交流会・交流遠足・作品展） ・職員研修会……事例研究会 ○障害者地域自立支援協議会子ども部会 ・２市２町（東浦町、東海市、知多市、阿久比町）３回開催 ・サポートブックの検討・作成 ○就学指導委員会…11月21日(水) 開催 ○学校生活支援員の配置(１日５時間勤務)（18名） ・７小学校…各１名 東浦中…1名 北部中…1名 ※介助が必要な児童・生徒のいる学校へ ・片葩小…1名 ・緒川小…３名・生路小…１名 ・卯ノ里小…２名 ・森岡小…1名 ・石浜西小…１名 《参考》 ・特別支援学級（平成 24 年 5 月 1 日現在） <table><tr><th rowspan="2">学校別</th><th rowspan="2">分類</th><th rowspan="2">学校数 (校)</th><th colspan="2">クラス数（室）</th><th colspan="2">生徒数（人）</th></tr><tr><th>24 年度</th><th>23 年度</th><th>24 年度</th><th>23 年度</th></tr><tr><td rowspan="2">小学校</td><td>知的</td><td>7</td><td>7</td><td>8</td><td>27</td><td>25</td></tr><tr><td>情緒</td><td>7</td><td>7</td><td>6</td><td>21</td><td>14</td></tr><tr><td rowspan="2">中学校</td><td>知的</td><td>3</td><td>4</td><td>3</td><td>16</td><td>11</td></tr><tr><td>情緒</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>11</td><td>11</td></tr><tr><td rowspan="2">合 計</td><td>知的</td><td>10</td><td>11</td><td>11</td><td>43</td><td>36</td></tr><tr><td>情緒</td><td>9</td><td>10</td><td>9</td><td>32</td><td>25</td></tr></table>	学校別	分類	学校数 (校)	クラス数（室）		生徒数（人）		24 年度	23 年度	24 年度	23 年度	小学校	知的	7	7	8	27	25	情緒	7	7	6	21	14	中学校	知的	3	4	3	16	11	情緒	2	3	3	11	11	合 計	知的	10	11	11	43	36	情緒	9	10	9	32	25	○特別支援教育推進協議会では交流事業、職員研修、授業研修等を行い特別支援教育の理解を深めるとともに、教員の指導力向上を図る。 ○発達支援部会では障害を持つ児童生徒支援について、母子保健・障害福祉・教育委員会・医療機関・相談機関等が連携し、支援が途切れることのないよう支援図を作成し、連携の強化ができた。 ○学校生活支援員は、各小学校・東浦中・北部中に１名を配置し、通常学級に在籍する発達障害児童に対し、安定した学校生活が送れるように、適切な指導や支援を行い、今後さらに増加すると思われる問題を抱える児童生徒への支援について、関係機関と連携をとり、学校と力をあわせ進めることができた。 ○障害児童数や障害の種別・程度に応じた特別支援学級介助員の配置を行った。 ○就学支援指導において、子どもの障害	A
学校別	分類				学校数 (校)	クラス数（室）		生徒数（人）																																													
		24 年度	23 年度	24 年度		23 年度																																															
小学校	知的	7	7	8	27	25																																															
	情緒	7	7	6	21	14																																															
中学校	知的	3	4	3	16	11																																															
	情緒	2	3	3	11	11																																															
合 計	知的	10	11	11	43	36																																															
	情緒	9	10	9	32	25																																															

事業名（担当課） 事業の概要	取組状況（平成 24 年度実績）	点検及び評価																							
	・就学支援相談（平成 24 年 12 月 1 日現在） <table border="1" data-bbox="580 268 1256 563"> <tr> <th rowspan="2">分 類</th><th rowspan="2">内 容</th><th colspan="2">生 徒 数（人）</th></tr> <tr> <th>24 年度</th><th>23 年度</th></tr> <tr> <td>学校内就学指導</td><td>指導者数</td><td>102</td><td>106</td></tr> <tr> <td>保育園へ巡回相談</td><td>相談者数</td><td>42</td><td>40</td></tr> <tr> <td>就学指導協議</td><td>協議者数</td><td>18</td><td>17</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>—</td><td>162</td><td>163</td></tr> </table>	分 類	内 容	生 徒 数（人）		24 年度	23 年度	学校内就学指導	指導者数	102	106	保育園へ巡回相談	相談者数	42	40	就学指導協議	協議者数	18	17	合 計	—	162	163	に対する支援の仕方について保護者の理解を得るのが困難な場合があり、指導のあり方の改善を図る。 ○担当教員の半分以上が経験年数 6 年未満のため、教員の専門性の向上が、今後の課題となる。	
分 類	内 容			生 徒 数（人）																					
		24 年度	23 年度																						
学校内就学指導	指導者数	102	106																						
保育園へ巡回相談	相談者数	42	40																						
就学指導協議	協議者数	18	17																						
合 計	—	162	163																						
（2） 学力の向上 （学校教育課） 児童・生徒一人ひとりにあった指導を通して、基礎的な学力の向上と思考力、判断力、表現力の伸長を図り、個別化・個性化教育を推進する。	○個別化・個性化教育の推進 ・ T T、少人数指導における効果的な指導の工夫 ・ 各小学校への教科指導員の配置 ○授業力向上への取組、校内現職教育の充実 ・ 外部講師等による指導・助言、少経験教員の指導力向上 ・ 各校の現職教育において、授業力向上に向けて研修 ○言語活動の充実 各校の現職教育において、「聞くこと、話すこと」「伝え合い」「学び合い」等をテーマとして設定	○少人数指導やティームティーチングを行ったり、教科指導員による個別指導を行ったりすることで、個に応じた学習指導を行うことができた。 ○外部指導者を積極的に講師として招聘し、指導を受けることで、授業力の向上に役立った。 ○少経験者教員の力量向上を目的に、校内現職教育において、発問の仕方、板書指導、机間指導等について研修を行うことで、授業力の向上に役立った。 ○協働学習を多くして、児童・生徒が教え合い、学び合い、ともに向上して喜びを味わう学習指導を行うことで、思考力・判断力・表現力などの基盤となる言語能力を高める工夫をすることが																							

事業名（担当課） 事業の概要	取組状況（平成 24 年度実績）	点検及び評価																																								
	○町内すべての小中学校において、教研式学力テストを実施 ・小学校……国語、算数 ・中学校……国語、社会、数学、理科、英語（１年生を除く）	できた。 ○学力調査を実施して、その結果を各校で分析することで、児童・生徒の学力実態を把握し、指導方法の改善に生かすことができた。																																								
（３）いじめ防止対策 （学校教育課）	○いじめの早期発見 ・学期に１回以上の頻度で定期的にいじめアンケートを実施し、その内１回以上は無記名式の内いじめアンケートを実施 ・子どもの小さなサインを見付けるための参考とするため、教育委員会で作成した「いじめ発見のチェックポイント」を全教職員へ配付 いじめ認知件数 <table><tr><td></td><td>H24</td><td>H23</td></tr><tr><td>小男</td><td>8</td><td>5</td></tr><tr><td>小女</td><td>3</td><td>1</td></tr><tr><td>小計</td><td>11</td><td>6</td></tr><tr><td>中男</td><td>26</td><td>25</td></tr><tr><td>中女</td><td>18</td><td>8</td></tr><tr><td>中計</td><td>44</td><td>33</td></tr></table> いじめアンケート実施回数 <table><tr><td></td><td></td><td>H24</td><td>H23</td></tr><tr><td rowspan="2">小学校</td><td>記名</td><td>12</td><td>15</td></tr><tr><td>無記名</td><td>14</td><td>0</td></tr><tr><td rowspan="2">中学校</td><td>記名</td><td>18</td><td>11</td></tr><tr><td>無記名</td><td>3</td><td>1</td></tr></table> ○「いじめの問題への取組状況のチェック表」による点検を実施 ・毎学期の終わりに、教育委員会が作成した「いじめ問題への取組状況のチェック表」にある点検項目にしたがって、教員一人一人が評価を行い、それを学校で集計したものを教育委員会へ提出		H24	H23	小男	8	5	小女	3	1	小計	11	6	中男	26	25	中女	18	8	中計	44	33			H24	H23	小学校	記名	12	15	無記名	14	0	中学校	記名	18	11	無記名	3	1	○定期的ないじめアンケートを実施することで、いじめの早期発見に努めた。 ○いじめを見抜く教師の力量を高めるための研修会に活用することができた。 ○教員のいじめへの認識を高め、自分自身の対応を振り返ってもらう効果があった。	A
	H24	H23																																								
小男	8	5																																								
小女	3	1																																								
小計	11	6																																								
中男	26	25																																								
中女	18	8																																								
中計	44	33																																								
		H24	H23																																							
小学校	記名	12	15																																							
	無記名	14	0																																							
中学校	記名	18	11																																							
	無記名	3	1																																							

事業名（担当課） 事業の概要	取組状況（平成 24 年度実績）	点検及び評価										
（４）防災教育の充実 （学校教育課）	○防災教育の教育課程への位置付け ・町内すべての小学校において防災教育を実施 防災教育に関する年間授業数 <table><tr><td></td><td>H24</td><td>H23</td></tr><tr><td>小学校</td><td>67</td><td>39</td></tr><tr><td>中学校</td><td>13</td><td>7</td></tr></table> ○東浦防災ネットとの連携 ・小学校における防災教育の授業計画作成に対する助言および授業への協力を依頼		H24	H23	小学校	67	39	中学校	13	7	○充実した防災教育となるよう、カリキュラムを見直し、各学年の発達段階に応じた防災教育を実施した。 ○東浦防災ネットの方たちの防災に関する専門知識を学校での防災教育に生かすことができた。	A
	H24	H23										
小学校	67	39										
中学校	13	7										
（５）小学校英語活動の推進 （学校教育課） 小、中学生の英語能力の向上や国際理解を深める。	○英語指導助手（ＡＬＴ）の配置 ・東浦中・北部中・西部中学校区……1 名 ・片葩小・生路小・藤江小学校区……1 名 ・石浜西小・緒川小・卯ノ里小・森岡小……1 名	○英語活動と国際理解教育の推進を図るため、英語指導助手（ＡＬＴ）と担任とが連携して、小学校 5、6 年生から英語活動を行っている。平成 24 年度からは児童生徒がＡＬＴとのコミュニケーションを図り、より効果を上げるためＡＬＴを 1 名増員し、3 名体制とした。今後も児童生徒にネイティブな英語に触れさせるとともに、担任の指導力向上を今後も進めていきたい。	A									
（６）アフタースクール事業 （学校教育課） 放課後の小学校の余裕教室を利用して、小学校 4 年	○平成 23 年度 2 学期から、石浜西小学校に在籍する児童の希望者（ブラジル人、日本人）にポルトガル語の読み書きの学習をするポルトガル語教室を開催 ・各小学校での実施場所、実施日、在籍人数（H24. 5. 1） 藤江小学校　：　生活科室　　　月・火曜日　人数　27 名 生路小学校　：　生路っ子ルーム　月・火曜日　　〃　10 名 片葩小学校　：　図書館　　　　　木・金曜日　　〃　23 名	○子どもたちは、学習・運動・地域の方とのかかわりなど意欲的に行うようになった。また、アフタースクールを楽しむにしている児童も多くなってきた。アフタースクールでのルールや約束を守れるようになり活動が充実して	A									

事業名（担当課） 事業の概要	取組状況（平成 24 年度実績）	点検及び評価
から 6 年の異学年児童との交流、地域住民との交流などの体験活動を行ないながら、放課後の児童の居場所作りとして各小学校で週 2 日実施。	石浜西小学校： 家庭科室 月・火・木・金曜日 〃 19 名 緒川小学校 ： 生活室 木・金曜日 〃 67 名 卯ノ里小学校： 家庭科室 木・金曜日 〃 68 名 森岡小学校 ： 視聴覚室 木・金曜日 〃 47 名 合 計 261 名 ○体制 ： コーディネーター 2 名、指導員 8 名 補助員 2 名 ○主な活動内容 ・ 常時活動 ： 学習、読書、運動、ゲーム等 ・ 特別講座 ： 料理、絵手紙、将棋・囲碁、ニュースポーツ、折紙、アニマルセラピー、季節・伝統行事 等 ・ 運営委員会 ： 1 回開催	きた。 ○毎月定例の「指導員打ち合わせ会」を行い、各校の情報交換と研修を行うことにより指導員の資質向上を図ることができるようになった。 ○子どもたちと地域の方との触れあいと運動や文化面の活動を充実させるため、より多くの外部講師やボランティアを募る。 ○学校との協力体制が整い、連絡調整などスムーズに運ぶようになった。今後、学校・学級担任と連絡・相談をし、個々の児童の成長を図りたい。 ○学校側との連携を密にした、緊急時における危機管理・連絡体制作りの検討を今後も進めていきたい。

事業名（担当課） 事業の概要	取組状況（平成 24 年度実績）	点検及び評価	
（7）小、中学校の施設整備 （学校教育課） 児童・生徒の教育環境に適した、安全で快適な学校生活が送れるように、施設・設備の整備を行う。	○学習環境整備工事（合計 42,440,550 円） ・トイレ改修（片葩小） ・図書室空調機設置（森岡小） ・バスケットボールコートライン変更（東浦中・北部中・西部中） ・ガス暖房配管設置（卯ノ里小） ・プール改修（生路小） ○安全・安心な学校づくり工事（合計 56,476,350 円） ・屋根防水改修（生路小） ・屋根外壁改修（森岡小） ・校舎改修工事（北部中）	○昨年に続き、小、中学校のトイレの洋式化を図った。これまで、全トイレに対する洋式化率は 31%であったが、平成 24 年度の改修により、34%になった。衛生面では床のドライ化仕様にするなど快適で機能的なトイレに改修されている。基本的には、各階に男女それぞれ 1 ヶ所を洋式化している。 ○老朽化した校舎の屋根防水改修や外壁改修を計画的に実施する。また、ガラス飛散防止フィルムの貼付けや棚等の固定など、今後は建物以外の地震対策の推進を図っていく。	A

事業名（担当課） 事業の概要	取組状況（平成 24 年度実績）	点検及び評価	
学校給食センター			
（８）食育と健康管理の推進 （学校給食センター） 児童・生徒に対し、食や健康についての関心を高め、偏食を改善させる。また、自分の健康は自分で守ろうとする自己管理能力を育てる。	○各小・中学校へ栄養教諭・栄養職員が出向いて食の巡回指導を実施した。 ・ 予定数値 平成 24 年度 130 回 ・ 実 績 平成 24 年度 130 回（100.0%） 《参考》 【実施学年】 ・ 小学校…全学年（H20 年度から全校・全クラスを対象に拡大して実施） ・ 中学校…１・２年（学校の希望があれば他学年も実施） 【指導内容】 ・ 小１年……牛乳について知ろう ・ 小２年……野菜だいすき ・ 小３年……バランスよく食べよう ・ 小４年……かむことの大切さを知ろう ・ 小５年……私たちの食べている食べ物について知ろう ・ 小６年……自分の間食を見直そう ・ 中１年……あなたの骨は大丈夫ですか ・ 中２年……自分の朝食を見直そう ※ 指導内容については、教科書や知多地区の栄養調査の結果から得られた問題点をもとに考えた。 ○各小・中学校へ栄養教諭が出向いて食育授業等を実施した。 ・ 教科…生活（サツマイモを育ててスイートポテト作りなど）12 回、社会（古代米の勉強）16 回 ・ 総合的学習（郷土料理を勉強し、きしめん、ういろう作り）20 回 ・ 給食試食会 7 回 ・ 学校保健委員会 3 回	○巡回指導以外にも家庭科・総合学習などの授業、試食会、学校保健委員会、個人指導でも栄養教諭・栄養職員を活用してもらい、食育と健康管理の推進を図ることができた。	A

事業名（担当課） 事業の概要	取組状況（平成 24 年度実績）	点検及び評価	
	・個別指導 5 回 - 合計 63 回		
（9）食物アレルギーへの対応 （学校給食センター） 食物アレルギーを持つ児童・生徒に対し除去食を提供することにより他の児童生徒と同じように給食をとることから「食の大切さ」、「食事の楽しさ」を教える。	○食物アレルギーを持つ児童・生徒数は小学校で、158 名、割合は、5.2%、中学校で、102 名、割合は 6.1%となっており、このうち給食センターで除去食を提供しているのは小学校で、14 名、中学校で 1 名の合計 15 名である。その他の児童・生徒は自分で弁当持参、除去で対応している子供と給食にアレルギー物質が使用されていないため対応する必要のない子供である。 《参考》 アレルギーの原因食品で多い順位 ・小学校・中学校 ①卵 ②乳製品 ③小麦 アレルギー物質に関する情報提供 ・加工食品の一部について、アレルギー物質に関する情報をホームページに掲載した。	○学校給食は必要な栄養を摂取する手段であるばかりでなく、児童・生徒が「食の大切さ」、「食事の楽しさ」を理解するための教材としての役割も担っている。このことは食物アレルギーのある児童・生徒も変わりはないため、他の児童・生徒と同じように給食を楽しむことを目指すうえで効果があった。	A
（10）学校給食センター施設整備事業 （学校給食センター） 老朽化した学校給食センターを移転整備する。	○建築面積の見直しに伴う実施設計変更業務を発注し、変更設計書の作成を行った。 （実施設計変更委託料 2,257,500 円） ○工事監理業務を発注し、工程や施工監理を委託した。 （工事監理業務 7,770,000 円） ○新学校給食センター整備工事等の発注を行った。 （合計 1,367,782,500 円） ・建築工事 ・電気工事 ・管工事 ・空調工事 ・造成工事 ・厨房設備機器	○他市町の施設および規模と比較検討を行い、一部、計画していた施設を廃止した。 ○完成後は、調理員の労働環境も整備され、安全でおいしい給食の提供を支障なく行うことができる。 ○設計変更に伴い共用開始が、平成 25 年 9 月から平成 26 年 4 月に変更となった。	B

事業名（担当課） 事業の概要	取組状況（平成 24 年度実績）	点検及び評価																									
生涯学習課																											
(11) 家庭教育事業 （生涯学習課） 家庭教育の重要性がますます高まる中、就学前や小学生の子育て家庭が抱える課題解決に向けて、家庭教育に関する知識・技術の向上を目指した学習機会を提供する。	○家庭教育推進補助事業 事業名 親と子のコミュニケーションのとり方を学ぶ講演会 ・講師 三浦 浩子先生 ・演題 「生きる力を育むコミュニケーション」 <table><tr><th>学校名</th><th>実施日</th><th>対象・参加者</th></tr><tr><td>藤江小学校</td><td>9 月 11 日</td><td>保護者・教師 42 名</td></tr><tr><td>生路小学校</td><td>12 月 15 日</td><td>保護者・教師 20 名</td></tr><tr><td>片葩小学校</td><td>9 月 11 日</td><td>保護者・教師 36 名</td></tr><tr><td>石浜西小学校</td><td>1 月 16 日</td><td>保護者・教師 18 名</td></tr><tr><td>卯ノ里小学校</td><td>9 月 26 日</td><td>保護者・教師 27 名</td></tr><tr><td>緒川小学校</td><td>11 月 28 日</td><td>保護者・教師 18 名</td></tr><tr><td>森岡小学校</td><td>6 月 11 日</td><td>保護者・教師 20 名</td></tr></table> ○「子育て支援交流会」知多地区推進大会 ・開催日 平成 24 年 12 月 8 日（土） ・開催場所 大府市勤労文化会館 ・参加者 小中学校 P T A、児童、子育てネットワーク、教育委員会 ・内 容 家庭教育を考える学習会 地域の活動発表	学校名	実施日	対象・参加者	藤江小学校	9 月 11 日	保護者・教師 42 名	生路小学校	12 月 15 日	保護者・教師 20 名	片葩小学校	9 月 11 日	保護者・教師 36 名	石浜西小学校	1 月 16 日	保護者・教師 18 名	卯ノ里小学校	9 月 26 日	保護者・教師 27 名	緒川小学校	11 月 28 日	保護者・教師 18 名	森岡小学校	6 月 11 日	保護者・教師 20 名	○「親と子のコミュニケーションのとり方」をテーマに家庭教育講座を開催し、思いの伝え方、受け取り方を学び、その効果を実感することができた。 ○北部中学校区オヤジの会が、地域の活動発表をし、感謝状が県から贈られた。町内唯一の校区単位でのオヤジの会であり、地域が連携し活動を広げている。	A
学校名	実施日	対象・参加者																									
藤江小学校	9 月 11 日	保護者・教師 42 名																									
生路小学校	12 月 15 日	保護者・教師 20 名																									
片葩小学校	9 月 11 日	保護者・教師 36 名																									
石浜西小学校	1 月 16 日	保護者・教師 18 名																									
卯ノ里小学校	9 月 26 日	保護者・教師 27 名																									
緒川小学校	11 月 28 日	保護者・教師 18 名																									
森岡小学校	6 月 11 日	保護者・教師 20 名																									

事業名（担当課） 事業の概要	取組状況（平成 24 年度実績）	点検及び評価
	（東浦町（北部中学校区オヤジの会）、大府市） 子育て支援を考える学習会 ハンドベル、手遊びなど 講演会 演題「あなたに逢えてよかった -生まれてきてくれてありがとう-」 講師 矢野 きよ実 氏 ○子育てリフレッシュ教室開催 ・実施日 5/7～9/24（8回） ・参加者 13名（託児 14名） ○託児付講座の開催 パン講座始め 8講座（リフレッシュ教室含） ○子ども向け講座の開催 子ども吹奏楽教室始め 9講座	○子育てリフレッシュ教室終了後は、自主サークルを設立し、活動を行っている。子育てサークルの登録団体は12団体である。

事業名（担当課） 事業の概要	取組状況（平成 24 年度実績）	点検及び評価
(12) 青少年健全育成事業 (生涯学習課) 心豊かにたくましく生きる青少年を育むため、家庭、学校、地域、関係機関・団体と連携を図りながら、青少年の健全育成活動を推進する。	○成人式の開催（委託事業） ・平成 25 年 1 月 13 日（日） ・対象者 518 名 出席者 455 名 参加率 87.8% ○半田警察署、青少年育成地域推進員、少年補導委員と情報交換及び学校訪問、街頭補導を実施。 ○ミュージックフェスティバルの開催（委託事業） ・平成 24 年 8 月 26 日（日） - アマチュアバンド 12 組出場 ・参加者 250 名 ○ジュニアリーダーの育成 登録者数 92 名	○成人式は、実行委員の企画により式典と参加企画の 2 部制にし、2 部では「新成人の主張」を行った。終了後に募金活動を行い、あしなが育英会へ寄付をした。平成 24 年度より出席率も上昇している。 ○青少年問題対策会議を年 3 回開催し、終了後イオンモール、駅等へパトロールを実施した。 また 8 月 23 日には午後 9 時から夜間パトロールを実施した。 ○出演者を公募し 12 組が出場した。キッズダンスの出演は 2 回目であり、盛況であった。平成 23 年度から内容を見直し主演者を幅広い年齢層から公募したが、主演者はマンネリ化しており、改善する必要がある。 ○ジュニアリーダーをボランティア事業に参加させる等、リーダーの育成の仕方を考慮する必要がある。また、指導者不足も課題である。 A

事業名（担当課） 事業の概要	取組状況（平成 24 年度実績）	点検及び評価	
(13) 高齢者教育事業 (生涯学習課) 高齢者が、積極的に社会参加や役割を担い、健康で生きがいのある生活を高められる高齢者教育を推進する。	○高齢者教室「明青会」の開催（委託事業） ・森岡、緒川、新田、石浜、生路、藤江の 6 地区で 6 ～ 7 回の高齢者教室を開催。 ・内容 防犯 交通安全、健康、音楽等 ・延べ参加者 3,228 名	○高齢者の参加意欲、学習意欲の向上のため、各地区の高齢者教室運営委員会に企画・運営を委託し、地区ごとに独自性を持って開催している。今後より良い高齢者教室にするため、カリキュラム・開催方法などを検討し改善する必要がある。	B
(14) 公民館管理事業 (生涯学習課) 文化センター及び地域住民の最も身近な公共施設である地区コミュニティセンターは、生涯学習の拠点施設であり地域コミュニティの拠点施設でもある。	○ガス配管改修工事 3,101,700 円 森岡・卯ノ里・生路コミュニティセンター ○文化センター照明器具改修工事 1,955,100 円 ○管理、電気、消防、空調等維持管理委託 ・文化センター 5,969,659 円 ・地区コミュニティセンター 8,949,910 円	○文化センター及び各地区コミュニティセンターは建設後 30 年を経過する施設が多く、施設・設備ともに老朽化が進んでいるため随時改修工事が必要である。	A

事業名（担当課） 事業の概要	取組状況（平成 24 年度実績）	点検及び評価																																																																
(15) 公民館事業 (生涯学習課) 住民の学習意欲及び社会性の啓発等を図る。教室・講座の開催にあたっては、核家族の増加、少子高齢化、家庭教育力の低下等を視野に入れ、計画立案する。	○講座・教室の開催（単位：回、人）		A																																																															
	<table><tr><th rowspan="2">講座の種類</th><th colspan="2">文化センター</th><th colspan="2">地区コミュニティセンター (6 館)</th><th colspan="2">はなのき会館</th></tr><tr><th>講座数</th><th>受講者</th><th>講座数</th><th>受講者</th><th>講座数</th><th>受講者</th></tr><tr><td>子供向け</td><td>9</td><td>332</td><td>6</td><td>106</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>親子向け</td><td>3</td><td>72</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>託児つき</td><td>8</td><td>91</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>青少年</td><td>5</td><td>37</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>一般</td><td>21</td><td>432</td><td>28</td><td>353</td><td>21</td><td>259</td></tr><tr><td>マイプロデュース</td><td>9</td><td>117</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>合計</td><td>55</td><td>1,081</td><td>34</td><td>459</td><td>21</td><td>259</td></tr></table>			講座の種類	文化センター		地区コミュニティセンター (6 館)		はなのき会館		講座数	受講者	講座数	受講者	講座数	受講者	子供向け	9	332	6	106	—	—	親子向け	3	72	—	—	—	—	託児つき	8	91	—	—	—	—	青少年	5	37	—	—	—	—	一般	21	432	28	353	21	259	マイプロデュース	9	117	—	—	—	—	合計	55	1,081	34	459	21	259	○住民ニーズを把握し、趣味的な講座や地域・世代間の連携・交流を促す講座を選び抜き、行政が行う講座と、民間が主催する講座との差別化を行い、特色のある講座を開講していくよう検討する。 ○講座・教室終了後、受講者が同好会を設立するよう促す。 ○マイプロデュース、マイスタディ講座の拡大を図り、地域の自主的な学習活動と地域の人々による交流や仲間づくりを支援する。
	講座の種類	文化センター			地区コミュニティセンター (6 館)		はなのき会館																																																											
		講座数		受講者	講座数	受講者	講座数	受講者																																																										
	子供向け	9		332	6	106	—	—																																																										
	親子向け	3		72	—	—	—	—																																																										
	託児つき	8		91	—	—	—	—																																																										
	青少年	5		37	—	—	—	—																																																										
	一般	21		432	28	353	21	259																																																										
	マイプロデュース	9		117	—	—	—	—																																																										
合計	55	1,081	34	459	21	259																																																												
総計 講座数：110 講座 受講者数：1,799 人																																																																		
(16) 文化財保護事業 (生涯学習課) 東浦町にある文化財を保護・保存し伝統行事を継承していく。	○史跡の保護のため文化財説明板の修繕を行うとともに、史跡の草刈りや樹木の消毒を行い史跡の保護に努めた。 ○文化財補助事業として、東浦町五ヶ村虫供養事業始め 5 団体への補助を行った。		A																																																															
○住民の文化財に対する保護意識を高めるため、町に残る史跡の保護・保存を行うとともに広く紹介した。																																																																		

事業名（担当課） 事業の概要	取組状況（平成 24 年度実績）	点検及び評価																						
(17) 郷土資料館事業 (生涯学習課) 住民の知識の向上と歴史・文化遺産などについて、興味と学習意欲を深めるため東浦町の歴史に関する独自のテーマに基づき特別展示を行い、歴史講座等の講座・教室を開催する。	○春の企画展 「むかしのお医者さんとお薬－東浦医事風土記－」 ・4月21日（土）～5月27日（日）入場者数 4,451 人 ○秋の企画展 「日本洋画と近代陶芸の名品」 ・11月3日（土）～12月2日（日）入場者数 4,298 人 ○講座・教室の開催 <table><tr><td>講座の種類</td><td>講座数（回）</td><td>参加者（人）</td></tr><tr><td>歴 史 講 座</td><td>3</td><td>79</td></tr><tr><td>古 文 書 教 室</td><td>1</td><td>54</td></tr><tr><td>陶 芸 教 室</td><td>5</td><td>91</td></tr><tr><td>塩 作 り 教 室</td><td>1</td><td>19</td></tr><tr><td>ボランティア養成講座</td><td>1</td><td>30</td></tr><tr><td>合 計</td><td>11</td><td>273</td></tr></table>	講座の種類	講座数（回）	参加者（人）	歴 史 講 座	3	79	古 文 書 教 室	1	54	陶 芸 教 室	5	91	塩 作 り 教 室	1	19	ボランティア養成講座	1	30	合 計	11	273	○子どもから高齢者まで幅広い方が来館することにより、文化財の保護・継承に努めることができた。 ○各講座・教室を開催して、歴史や陶芸に関心と興味を持ってもらい文化意識の向上が図れた。	A
講座の種類	講座数（回）	参加者（人）																						
歴 史 講 座	3	79																						
古 文 書 教 室	1	54																						
陶 芸 教 室	5	91																						
塩 作 り 教 室	1	19																						
ボランティア養成講座	1	30																						
合 計	11	273																						

事業名（担当課） 事業の概要	取組状況（平成 24 年度実績）	点検及び評価																																																										
図書館																																																												
(18) 図書館活動 (図書館) 図書等の資料を活用し、住民の知的好奇心に応えていくことや、子どもたちの健やかな発育に寄与する。	<table><tr><td></td><td>蔵書数</td><td>購入数</td><td>貸出点数</td><td>予約件数</td></tr><tr><td>図書一般</td><td>124,660 冊</td><td>2,472 冊</td><td>164,028 冊</td><td>7,520 件</td></tr><tr><td>図書児童</td><td>50,056 冊</td><td>1,518 冊</td><td>146,802 冊</td><td>1,630 件</td></tr><tr><td>視 聴 覚</td><td>10,036 点</td><td>141 点</td><td>28,140 点</td><td>215 件</td></tr><tr><td>雑 誌</td><td>124 誌</td><td>124 誌</td><td>23,205 冊</td><td>1,059 件</td></tr></table> ○郷土の偉人副読本作成事業により、特別資料室のリニューアルと、小中学生用の副読本を作成した。 <table><tr><td>比 較 項 目</td><td>H24 年度</td><td>H23 年度</td></tr><tr><td>登録率(人口当たりの登録者数)</td><td>37.6%</td><td>37.9%</td></tr><tr><td>町民一人当たりの貸出点数</td><td>7.2 点</td><td>7.7 点</td></tr><tr><td>登録者一人当たりの貸出点数</td><td>19.2 点</td><td>20.3 点</td></tr><tr><td>町民一人当たりの資料点数</td><td>3.7 点</td><td>3.6 点</td></tr><tr><td>一日平均貸出者数</td><td>272 人</td><td>289 人</td></tr><tr><td>一日平均貸出点数</td><td>1,266.3 点</td><td>1,336.4 点</td></tr><tr><td>一日平均レファレンス件数</td><td>4.4 件</td><td>2.8 件</td></tr><tr><td>※県民一人当たりの貸出点数</td><td>－</td><td>2.9 点</td></tr><tr><td>※国民一人当たりの貸出点数</td><td>－</td><td>3.3 点</td></tr><tr><td>一日当平均入館者数（開館：286 日）</td><td>568 人</td><td>－</td></tr></table> ※レファレンスとは図書館が行なう利用者サービスの一つで、必要とする文献や参考図書についての問い合わせに応じたり、検索に協力したりするものです。		蔵書数	購入数	貸出点数	予約件数	図書一般	124,660 冊	2,472 冊	164,028 冊	7,520 件	図書児童	50,056 冊	1,518 冊	146,802 冊	1,630 件	視 聴 覚	10,036 点	141 点	28,140 点	215 件	雑 誌	124 誌	124 誌	23,205 冊	1,059 件	比 較 項 目	H24 年度	H23 年度	登録率(人口当たりの登録者数)	37.6%	37.9%	町民一人当たりの貸出点数	7.2 点	7.7 点	登録者一人当たりの貸出点数	19.2 点	20.3 点	町民一人当たりの資料点数	3.7 点	3.6 点	一日平均貸出者数	272 人	289 人	一日平均貸出点数	1,266.3 点	1,336.4 点	一日平均レファレンス件数	4.4 件	2.8 件	※県民一人当たりの貸出点数	－	2.9 点	※国民一人当たりの貸出点数	－	3.3 点	一日当平均入館者数（開館：286 日）	568 人	－	○図書館の特別資料室に久松潜一先生、久米常民先生の資料が展示してあるが、郷土の偉人を広く住民に顕彰するためにリニューアルを行った。既設の展示物も整理をし新しいものに交換し、児童生徒向けにわかりやすい展示を増設した。顕彰のためには、幼少のころから業績を知ってもらう必要があり、学校の授業に取り入れてもらうために副読本を作成した。 ○図書館の利用に関して、登録率、町民一人当たりの貸出点数等、多くの項目で昨年度を下回っているので、図書館の利用促進に力を入れていく必要があるが、数字にとらわれず、利用者にとって親しみやすく、利用しやすい環境の図書館を目指していく。また、レファレンス件数については増加をしており、図書館におけるレファレンスは、重要な役割の一つであるため今後も利用者にPRをし利用促進をしていく。 ○平成 24 年 4 月から来館者カウントシステムを導入し集計を始め、一日平均 568 人、年間 162,505 人の入館者があった。
	蔵書数	購入数	貸出点数	予約件数																																																								
図書一般	124,660 冊	2,472 冊	164,028 冊	7,520 件																																																								
図書児童	50,056 冊	1,518 冊	146,802 冊	1,630 件																																																								
視 聴 覚	10,036 点	141 点	28,140 点	215 件																																																								
雑 誌	124 誌	124 誌	23,205 冊	1,059 件																																																								
比 較 項 目	H24 年度	H23 年度																																																										
登録率(人口当たりの登録者数)	37.6%	37.9%																																																										
町民一人当たりの貸出点数	7.2 点	7.7 点																																																										
登録者一人当たりの貸出点数	19.2 点	20.3 点																																																										
町民一人当たりの資料点数	3.7 点	3.6 点																																																										
一日平均貸出者数	272 人	289 人																																																										
一日平均貸出点数	1,266.3 点	1,336.4 点																																																										
一日平均レファレンス件数	4.4 件	2.8 件																																																										
※県民一人当たりの貸出点数	－	2.9 点																																																										
※国民一人当たりの貸出点数	－	3.3 点																																																										
一日当平均入館者数（開館：286 日）	568 人	－																																																										

事業名（担当課） 事業の概要	取組状況（平成 24 年度実績）	点検及び評価
	○広報ひがしうらの毎月 1 日号に図書館便りを掲載し、新着本の紹介や図書館事業の広報を行った。 ○新着図書案内を定期的に発行し、町内の小中学校等に配布し利用促進に努めた。 ○読み聞かせ講座(一般向け実技 4 回)、(保育士向け 1 回)、(一般向け座学 1 回)を開催し、それぞれの対象者は読み聞かせの意義や絵本の選び方などを学んだ。 ○ブックトーク講座(教員、ボランティア向け)小学校高学年対象のブックトークの組み立て方や本の選び方を学んだ。 ○図書のリサイクル（年 3 回実施）譲渡冊数 5,604 冊、譲渡率 95.6% ○読書感想文・感想画コンクール：応募点数 7,736 点 ○社会体験研修：教職員 1 名 ○職場体験学習：町内小中学校児童生徒 4 校 15 名 ○図書館見学：町内小学校児童 7 校 430 名 ○現在の満足度を図るために利用者アンケートを 10 月 16 日～11 月 15 日まで実施し、833 枚の回答を得た。自由意見に対しては 1 月 5 日～1 月 24 日に回答を館内に展示した。 ○「東浦町子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭、学校、保育園、行政機関などで読書に対する取り組み(73 項目)を継続的に進めている。 ○ボランティア：図書館まつり、定例おはなし会、クリスマス会、図書の修理、小中学生の図書館ボランティア活動、読書会活動など図書館活動、運営にボランティアの協力を得た。	○絵本作家を招きクリスマス会に作品の読み聞かせを行い好評であった。 ○図書のリサイクルでは、譲渡率が高いため残数は手作業で資源ごみにし、有料でのリサイクル経費を節約できた。 ○社会体験研修、職場体験学習などを積極的に受け入れることにより、図書館活動のPRにつなげていく。 ○利用者アンケートでは、数多くの意見が寄せられた。意見の内すぐに改善できるものは改善し、検討できるものは検討を行っている。今後も目的をもってアンケートを実施していく。 ○「子ども読書活動推進計画」によりそれぞれの立場でそれぞれの役割がはっきりと明記され、足並みをそろえて取り組むことができるようになった。

事業名（担当課） 事業の概要	取組状況（平成 24 年度実績）	点検及び評価	
スポーツ課			
(19) 東浦マラソンの開催 (スポーツ課) 走ることを通して、幅広い年齢層の交流と競技レベルのアップを目的に、町民が誰でも気軽に参加できる大会を開催する。	・開催日 平成 24 年 12 月 16 日（日） ・場 所 あいち健康の森公園及び周辺道路にて開催 ・参加者 4,103 人（平成 23 年度 4,017 人） ・申込期間 9 月 26 日～10 月 25 日 インターネット、携帯電話、郵送、窓口で募集受付 ○競技種目としてのマラソン、年齢を問わず参加できるジョギングの、全 20 種目を実施 2 k m 777 人(子供) 3 k m 975 人(大人 227 人・子供 748 人) 10 k m 1,308 人(大人) ジョギング 1,043 人(大人 384 人・子供 659 人) 合計 4,103 人(大人 1,919 人・子供 2,184 人) ○実行委員会の開催（2 回）委員等 15 人 ○競技運営委員 32 係 293 人 町職員 105 人、体育協会部員 96 人、スポーツ推進委員 19 人、教職員 10 人、ボランティア 25 人、その他 38 人 ○運営委員の説明会（3 回） ○駐車状況 1,420 台収容 ○交通機関 会場からシャトルバスで大府駅間を運行 ○協賛事業（100 事業所）	○東浦マラソンを通じ幅広い交流と競技のレベルアップを図るため、あいち健康の森へ会場を移し、平成 13 年度からはオープン大会に変更し、近頃では 4,000 人を超える参加がある。 起伏に富むコース変化が魅力であり、参加者は就学前の子どもから 80 歳代まで幅広い年齢層になっている。地域別では、町内 1,837 人、町外 2,266 人（県外では、19 の都府県から 114 人）の参加があった。 アンケートによりますと、参加賞の内容や無料サービスのお汁粉、ドリンクサービス、お楽しみ抽選会などが好評となっている。 しかし、10 年以上同じコースを続けているためにコースを変更して欲しい、物産展を開催して欲しい、町の宣伝をして欲しいなどの声があり、これらの要望に応えられるよう今後の検討が必要と考えられる。 ○年々増加する参加者による駐車場不足が心配されるため、参加者へは公共交通機関の利用を促していく。	A

事業名（担当課） 事業の概要	取組状況（平成 24 年度実績）	点検及び評価																																																																	
(20) スポーツ教室の実施 (スポーツ課) スポーツ活動に参加するきっかけづくり、また競技スポーツ及びレクリエーションスポーツを通して体力の向上、低い年齢層がスポーツにふれあう機会をつくり、スポーツ人口の拡大を目的として開催する。	・開催期間 5月7日から11月24日 <table border="1" data-bbox="555 220 1379 1002"> <thead> <tr> <th>教 室</th><th>回数</th><th>定員</th><th>参加者</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>女 性 ス ト レ ッ チ & エ ア ロ</td><td>16</td><td>30</td><td>20</td></tr> <tr> <td>卓 球 教 室 A</td><td>16</td><td>25</td><td>21</td></tr> <tr> <td>卓 球 教 室 B</td><td>16</td><td>25</td><td>15</td></tr> <tr> <td>ジュニアソフトテニス A</td><td>16</td><td>20</td><td>20</td></tr> <tr> <td>ジュニアソフトテニス B</td><td>16</td><td>20</td><td>20</td></tr> <tr> <td>ジュニア体操</td><td>16</td><td>30</td><td>27</td></tr> <tr> <td>子 供 体 育 年 長 A</td><td>16</td><td>30</td><td>30</td></tr> <tr> <td>子 供 体 育 年 長 B</td><td>16</td><td>30</td><td>30</td></tr> <tr> <td>子 供 体 育 年 中 A</td><td>16</td><td>30</td><td>25</td></tr> <tr> <td>子 供 体 育 年 中 B</td><td>16</td><td>30</td><td>30</td></tr> <tr> <td>ジュニア水泳（ヤドカリ）</td><td>7</td><td>20</td><td>20</td></tr> <tr> <td>ジュニア水泳（アヒル）</td><td>7</td><td>20</td><td>15</td></tr> <tr> <td>初 心 者 キ ッ ズ ダ ン ス</td><td>16</td><td>15</td><td>15</td></tr> <tr> <td>女 性 テ ニ ス</td><td>16</td><td>25</td><td>13</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td></td><td>350</td><td>301</td></tr> </tbody> </table>	教 室	回数	定員	参加者	女 性 ス ト レ ッ チ & エ ア ロ	16	30	20	卓 球 教 室 A	16	25	21	卓 球 教 室 B	16	25	15	ジュニアソフトテニス A	16	20	20	ジュニアソフトテニス B	16	20	20	ジュニア体操	16	30	27	子 供 体 育 年 長 A	16	30	30	子 供 体 育 年 長 B	16	30	30	子 供 体 育 年 中 A	16	30	25	子 供 体 育 年 中 B	16	30	30	ジュニア水泳（ヤドカリ）	7	20	20	ジュニア水泳（アヒル）	7	20	15	初 心 者 キ ッ ズ ダ ン ス	16	15	15	女 性 テ ニ ス	16	25	13	合 計		350	301	○アンケートの実施や窓口での利用者の声など住民ニーズを反映させスポーツ教室を開催した。新規で開講した初心者キッズダンス教室・女性テニス教室とも受講生、保護者ともに好評であり、スポーツ活動に参加するきっかけづくりとなった。 募集は、広報・ホームページで呼びかけたが、7つの教室が定員に満たなかった。より多くの方に受講していただくため、開催教室の検討や、募集方法の改善を図っていく必要がある。	
教 室	回数	定員	参加者																																																																
女 性 ス ト レ ッ チ & エ ア ロ	16	30	20																																																																
卓 球 教 室 A	16	25	21																																																																
卓 球 教 室 B	16	25	15																																																																
ジュニアソフトテニス A	16	20	20																																																																
ジュニアソフトテニス B	16	20	20																																																																
ジュニア体操	16	30	27																																																																
子 供 体 育 年 長 A	16	30	30																																																																
子 供 体 育 年 長 B	16	30	30																																																																
子 供 体 育 年 中 A	16	30	25																																																																
子 供 体 育 年 中 B	16	30	30																																																																
ジュニア水泳（ヤドカリ）	7	20	20																																																																
ジュニア水泳（アヒル）	7	20	15																																																																
初 心 者 キ ッ ズ ダ ン ス	16	15	15																																																																
女 性 テ ニ ス	16	25	13																																																																
合 計		350	301																																																																

事業名（担当課） 事業の概要	取組状況（平成 24 年度実績）	点検及び評価
(21) 総合型地域スポーツクラブ育成 (スポーツ課) 地域における生涯スポーツの発展に寄与することを目的として、多種目で世代を超えた会員のニーズに合うスポーツに関する定期活動事業やイベント・体験教室を実施した。	○NPO法人森と川スポーツクラブ ・活動内容は、総合型スポーツクラブの主目的である多種目で世代を超えた会員のニーズに合うようにした。（平成 25 年 3 月末 クラブ会員数 201 人） ○「みんなでスポーツを楽しむ会」の実施 ・スポーツクラブ未設置地区（緒川新田・石浜・生路・藤江）では、スポーツの体験会を行った。 ・石浜地区 片葩小学校 1 回 52 名参加 種目 ビーチボール・ミニテニス ・東浦中学校区 東浦町体育館 1 回 46 名参加 種目 ソフトテニス・ミニテニス・キンボール・スポーツ吹き矢 スラックライン ・生路地区 生路小学校 6 回 45 名参加 種目 グランドゴルフ・ペタンク・ミニテニス・ビーチボール バスケットボール・バドミントン ・藤江地区 藤江小学校・藤江コミュニティセンター 1 回 54 名参加 種目 ミニテニス・キンボール・ビーチボール	○森と川スポーツクラブは設立から 5 年が過ぎた。 平成 22 年 9 月に NPO 法人となり新たな活動、事業推進や組織の拡充を行っている。活動、事業内容は 8 種目を定期的に開催した。また、会員数の増加を図るため、9 月と 3 月にカラーリングのイベントを実施し、地域住民への広報活動を行った。 ○スポーツクラブ未設置地区では、「スポーツを楽しむ会」を、地域のスポーツ指導者とスポーツ推進委員で企画、運営した。 平成 24 年度は、東浦中学校区として町体育館を始め各地区 3 ヶ所で開催した。 多くの種目の講座を同時に実施したため、参加者は 2 種目以上のスポーツを体験することができ、新たなスポーツに取り組むきっかけとなった。 また、今回の企画運営の体験をもとにし、スポーツ指導者が自主的にスポーツ教室やイベントを開催できる体制づくりをしていく。

事業名（担当課） 事業の概要	取組状況（平成 24 年度実績）	点検及び評価																												
(22) スポーツ指導者養成 (スポーツ課) スポーツ指導者の人材育成、資質向上を目的として指導者講習会を開催した。受講修了者の中で希望者は、スポーツ指導者人材バンクに登録をして、地域のスポーツ活動の指導者として活動する。	○スポーツ指導者養成講習会 ・実施日 9月8日から10月27日（6回）	○利用者の要望により、これまで全5回講座全部を受講する内容だったのを、全6回講座のうち5講座を受講すれば受講修了できることに変更した。今後も同じ時期に開催し、広報や町ホームページだけでなく、各団体へも個別に開催を呼びかけ、新規の受講者を開拓していく。 ○平成25年3月末現在のスポーツ指導者人材バンク登録者は189人(24年度174名)である。 登録者のうち約60%が自ら選手として活動していて、スポーツ指導者として活動しているのは43%程度である。 また、学校部活動の外部指導者についても登録者以外で学校からの推薦が多い。このことから、行事やイベントなどの機会を捉えて、スポーツ指導人材バンクの目的を広く周知し、スポーツ指導者との連絡を密にして、活動の協力をしていく。																												
	<table><tr><th>回数</th><th>会場・実施日</th><th>講座名</th><th>受講者数</th></tr><tr><td>1</td><td>勤労福祉会館 9月8日</td><td>講義 「本気になれば必ずできる」 ～子供の可能性は無限だ～</td><td>49名</td></tr><tr><td>2</td><td>文化センター 9月15日</td><td>実技 救急法実習</td><td>25名</td></tr><tr><td>3</td><td>文化センター 9月22日</td><td>講義 「文化としてのスポーツ」 ～技からのアプローチ～</td><td>28名</td></tr><tr><td>4</td><td>東浦町体育館 9月29日</td><td>実技 「スポーツ整膚」</td><td>39名</td></tr><tr><td>5</td><td>勤労福祉会館 10月13日</td><td>講義 「スポーツと食事」</td><td>37名</td></tr><tr><td>6</td><td>東浦町体育館 10月27日</td><td>実技 「身体能力を育てる」</td><td>34名</td></tr></table>		回数	会場・実施日	講座名	受講者数	1	勤労福祉会館 9月8日	講義 「本気になれば必ずできる」 ～子供の可能性は無限だ～	49名	2	文化センター 9月15日	実技 救急法実習	25名	3	文化センター 9月22日	講義 「文化としてのスポーツ」 ～技からのアプローチ～	28名	4	東浦町体育館 9月29日	実技 「スポーツ整膚」	39名	5	勤労福祉会館 10月13日	講義 「スポーツと食事」	37名	6	東浦町体育館 10月27日	実技 「身体能力を育てる」	34名
	回数		会場・実施日	講座名	受講者数																									
	1		勤労福祉会館 9月8日	講義 「本気になれば必ずできる」 ～子供の可能性は無限だ～	49名																									
	2		文化センター 9月15日	実技 救急法実習	25名																									
	3		文化センター 9月22日	講義 「文化としてのスポーツ」 ～技からのアプローチ～	28名																									
	4		東浦町体育館 9月29日	実技 「スポーツ整膚」	39名																									
	5		勤労福祉会館 10月13日	講義 「スポーツと食事」	37名																									
6	東浦町体育館 10月27日	実技 「身体能力を育てる」	34名																											
延べ受講者数 212名																														

A

3 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会委員（平成 24 年度在籍）

職 名	氏 名
委 員 長	加 藤 慧 子
委員（委員長職務代理者）	小 林 久 枝
委 員	久 米 賢 治
委 員	水 野 義 久
委 員（教 育 長）	稲 葉 耕 一

（敬称略）

(2) 教育委員会の開催状況

定例会	1 2 回
臨時会	2 回
議案	3 6 件
承認	1 4 件
報告事項	5 7 件

(3) 教育委員会委員の主な活動

委員研修会	3 回	参加人数 延べ	1 5 人
知多地方教育事務協議会	5 回	参加人数 延べ	1 1 人
入学式・卒業式	延べ 2 0 校	参加人数 延べ	2 0 人
学校訪問	1 0 校	参加人数 延べ	1 8 人
その他各種行事等	5 4 回	参加人数 延べ	7 3 人

(4) 委員会活動の情報発信

東浦町のホームページで定例会の議題等、教育委員会事務局及び学校の概要を掲載している。

第2章 教育委員会点検・評価会議の専門委員の意見

平成24年度事務事業の点検・評価を行った結果、各事業の取り組みについては前年度の活動に対し、反省すべき点に改善を加え平成24年度の事業に活かして実施されていると認められる。

報告書は、教育委員会の事業ごとに、その取組状況を検証し、自己点検・自己評価を実施した結果をまとめたものである。全体的にみれば、その内容については教育委員会会議等での様々な意見を取り入れて、適正に実施してきていると認められる。

学校教育については最近、「いじめ防止対策」「防災教育の充実」が社会的な関心ごとになっており、それに対する学校の取組みも今回の報告書の中では評価されている。この評価結果を次年度への改善につなげていくことが大切であり、今後も「いじめの根絶」「防災教育の充実」について努力していただきたい。

教育という事業の特殊性を鑑みると、先を見通した企画が必要になってくる。教育活動はデータの収集分析が困難な側面もあるが、客観的で科学的な行政運営の必要性や意義はますます高まっている。このため、科学的で具体的な研究開発を教育委員会事務局に期待する。したがって、教育行政には適正な事務執行機能だけでなく、企画調査機能の充実も求められる。

以上、総括的に意見を述べたが、今後の事務執行については課題もいくつか見受けられるので次の意見を付してまとめとする。

いじめ防止対策について、一番重要なのは、いじめの実態把握である。現代のいじめは陰湿化、巧妙化、潜在化が進んでいるので、小中学校で行ったアンケート調査等をもとに実態をつかみ、いじめの早期発見に努めることは重要である。今後はいじめを見抜く教師を育てるための活発な研修及び情報を共有するネットワークづくりが必要と思われる。

防災教育の充実については「各学年の発達段階に応じた防災教育」「東浦防災ネットとの連携」など、創意工夫しながらの取組み、実践活動が評価できる。これからは、家庭との連携や、子どもたちが事故や災害に対して、自ら危険を予測し回避する力を育成していくことが大切である。

図書館活動については全国の自治体が機能的な図書館を構築しようと頑張っており単なる学習の場ではなく、幅広い機能を持たせようとする動きが強まっている。

本町図書館についても、図書等の資料はもちろん、デジタル・メディアの充足を図るとともに、レファレンス機能も強化し、住民の知的好奇心に応えていくことや、子どもたちの健やかな発育に寄与する図書館づくりをすすめていただきたい。

それぞれの事業については、自己点検し自己評価をして出た問題点を整理・検討し、今後の活動に生かして事業推進に役立てていただくことを期待する。

教育委員会点検・評価会議名簿

- | | | |
|---|-------------------------|-------|
| 1 | 専門委員（元 東 浦 町 教 育 委 員） | 本田 眞哉 |
| 2 | 専門委員（西 部 中 学 校 評 議 委 員） | 橋本 一男 |
| 3 | 専門委員（東 浦 町 体 育 協 会 理 事） | 水野 泰徳 |
| 4 | 専門委員（社 会 教 育 委 員） | 長坂 典子 |
| 5 | 事務局職員（教 育 長） | 稲葉 耕一 |
| 6 | 事務局職員（教 育 部 長） | 長坂 安穂 |

東浦町教育委員会事務局

〒470-2192 愛知県知多郡東浦町大字緒川字政所 2 0

電 話：0562－83－3111（学校教育課）

F A X：0562－83－8180

Mail：gakko@town.aichi-higashiura.lg.jp